

科目番号	50	科目名	環境の科学	
英文科目名	Environmental Science			
大学・短期大学名	龍谷		大学	
連絡先	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5			
	TEL :	077-543-7739	FAX :	077-543-7674
担当教員	奥田 哲士 ( 先端理工 学部 教授 )			
教室名		会場		
授業期間	2021 年 9 月 20 日 ( 月 ) ~ 2022 年 1 月 17 日 ( 月 ) <毎週 月 曜日> 2 時限・講時 11 : 00 ~ 12 : 30			
超過時の選考方法	書類選考			
成績評価方法	小テスト		70% ほぼ毎回行う (理由によらず欠席回の再テストは行わない)	
	レポート		30% 毎回行う (欠席回に出題分の提出は認めない)	
別途負担費用	なし		あり ( ) 円	
その他特記事項	レポートを小テストの一部として行う場合がある。			
<b>&lt;講義概要・到達目標&gt;</b>				
<p>■【講義概要】 環境問題は、鉱毒事件にはじまった公害問題、ダイオキシンなどの微量汚染物質問題、地球温暖化などの生活様式やエネルギー利用を根本的に考え直さなければならないような環境問題と移り変わっている。本講義では、指定テキストを通じて、さまざまな環境問題の概要や本質、実態、対応や取り組みについて基礎知識を深めることに加え、今後どのようにすべきか(ソリューション)についての考察もしてもらう。</p> <p>■【到達目標】 さまざまな環境問題とその対策法の基礎知識を網羅的に身につける事ができ、新たな環境問題の解決法の立案についての基礎を確立できる。</p> <p>■【講義方法】 対面を基本とするが、場合によっては一部をオンラインでの受講や質問(主にオンデマンドとオフィスアワー時の質疑)、あるいはそれらを利用した対面講義とする。 毎回、教科書を10-20ページ毎に予習してもらった上で、最新の情報等を配布資料(PDF)とスライドで補足する(場合によっては音声説明付きの動画なども利用)。</p> <p>■【授業時間外における予・復習等の指示】 予習を徹底した聴講に期待する。</p> <p>■【履修上の注意】 初回にmanaba利用の注意点(追試を行わない事やカンニング扱い事項等)詳しく説明するので、初回、参加できない場合は初回以降、早急に担当教員に直接相談する事。 急、あるいは直前の変更・連絡はmanabaのニュースを予定している。</p>				
<b>&lt;授業スケジュール&gt;</b>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	9 月 20 日	ガイダンス(manaba等オンライン教材の説明と実習含む)、学修内容の概要、環境問題とは		
2	9 月 27 日	環境問題の基本		
3	10 月 4 日	大気・水の循環とエネルギー		
4	10 月 11 日	各種物質の循環		
5	10 月 25 日	マテリアルフロー等		
6	11 月 1 日	各種環境指標・リスク等		
7	11 月 8 日	温暖化の現状		
8	11 月 15 日	温暖化の今後や対策技術等		
9	11 月 22 日	大気環境		
10	11 月 29 日	水環境・土壌環境		
11	12 月 6 日	森林と砂漠化等		
12	12 月 13 日	生物多様性等		
13	12 月 20 日	都市化の問題(場合によってはワークショップも予定)		
14	12 月 22 日	ライフスタイル等(場合によってはワークショップも予定)		
15	1 月 17 日	ソリューション法等、確認小テスト		
<b>&lt;教科書・参考書&gt;</b>				
<p>■【テキスト】テキスト(教科書)の購入が必要である。2回目講義までに、必ず最新の版を入手する事。 西岡秀三ほか『改訂新版 地球環境がわかる』(技術評論社) 1,880円 (ISBN:9784774171814)</p> <p>■【参考文献】 石川 宗孝 編著/ 笠 文彦 他著『環境読本—環境をいかに学び、いかに対処するか』(電気書院) 2,700円 (ISBN:9784485220160)</p>				